2015 印刷文化典 特集

印刷業界の発展の功績称える

小野忠朝氏

小貫敬一氏

山本誠氏

松本将次氏

久野政道氏

永井一民氏

片岡孝元氏

田中國睦氏

緒方光治氏

渡部俊行氏

鈴木茂樹氏

太田真義氏

佐久間信幸氏

新井正敏氏

中山正敏氏

大内靖氏

菅野潔氏

田中幸晴氏

杉渕好美氏

松本峰包氏

長谷川重則氏

内藤正和氏

弓矢泰氏

印刷振興賞 23氏

印刷工業会

▽小貫敬一氏＝ビーエフ&パッケージ㈱常務取締役、63歳。

長年に亘り、紙加工の営業に携わり、市場ニーズに対応した機能性食品容器や美粧性パッケージの開発に尽力した。更に、印刷工業会紙器印刷部会副幹事長を長年勤める等、業界の発展に貢献した。

▽小野忠朝氏＝宝印刷㈱執行役員、63歳。

入社以来印刷諸工程に従事。管理職を歴任し社員の技術向上を図る。執行役員として印刷部門を統括。品質面のみならず業務特殊性に基づく情報管理等様々な観点から高水準な指導体制並びに生産体制を構築・維持している。

▽永井一民氏＝大日本印刷㈱研修部印刷研修センター長、64歳。

様々な事業分野で工場長、製造本部長を歴任、後身の育成にも積極的に取り組む。さらに、これまでの経験知識を生かし、日印産連「印刷技術標準化WG」「印刷用語刊行委員会」委員を務める。

▽久野政道氏＝共同印刷㈱資材部長、59歳。

平成21年度より印刷工業会資材部会の委員を務め、平成24年度からは部会長として活躍。工業会の活動推進に寄与した。また製紙会社からの価格改定要求に際しては、中心的な役割を果たした。

▽松本将次氏＝大洋印刷㈱取締役営業本部長、60歳。

長年に亘り、営業部門の責任者を務め、顧客から信頼も厚く、広い人脈を活かした営業活動は、後進の範となる。商業印刷部会R&Dグループのリーダーを務めるかたわら、女性活躍推進活動への協力など、業界活動の貢献も大きい。

▽山本誠氏＝草加紙パック㈱製造部長代理、54歳。

勤続36年に亘り液体紙容器及び一般紙器の印刷を含む技術全般に携わり、操業の改善及び技術の向上に尽力した。後進の育成にも卓越した技能と指導力を発揮し、会社全体の技術力アップに大きく貢献している。

全印工連

▽渡部俊行氏＝松栄印刷㈲代表取締役、68歳。

平成14年から20年まで、全印工連理事、島根県工組理事長、中国地区印刷協議会副会長の要職を務める。この間、「全印工連2008計画—業態変革推進プラン」を推進し、中国地区の中小印刷業界の発展に大きく貢献した。

▽緒方光治氏＝（資）緒方印刷所代表社員、73歳。

平成14年から20年まで、全印工連理事、熊本県工組理事長、九州地区印刷協議会理事の要職を務める。この間、全国の地元紙に対する「新聞社の印刷物受注に対する見解」の作成に取り組むなど、各種の課題解決に大きく貢献した。

▽田中國睦氏＝大日本法令印刷㈱会長、75歳。

平成16年から22年まで、全印工連理事、長野県工組理事長、関東甲信越静地区印刷協議会監事の要職を務める。この間、中小印刷業界の地位向上、組織強化の推進に尽力するなど、業界の振興発展に寄与した。

▽片岡孝元氏＝㈲片岡印刷所取締役、65歳。

平成20年から26年まで、全印工連理事、高知県工組理事長、四国地区印刷協議会副会長の要職を務める。この間、経営、環境、組織、教育の各種事業を積極的に推進するなど、中小印刷業界の振興発展に貢献した。

▽新井正敏氏＝㈱アサヒコミュニケーションズ会長、70歳。

平成20年から現在まで、全印工連理事、埼玉県工組理事長、関東甲信越静地区印刷協議会監事の要職を務める。この間、業態変革、経営革新、官公需改善運動などに力を注ぎ、卓越した指導力を発揮し組合員を牽引した功績は多大である。

フォーム工連

▽佐久間信幸氏＝㈱日進堂印刷所社長、57歳。

東北フォーム印刷工業会の理事・常任理事を10年務め、平成20年より会長に就任。設立40周年式典・事業をはじめ、会の発展に寄与。併せてフォーム工連の常任理事も歴任。また東日本大震災の被災を受けながら被災地の支援活動に積極的に取り組み続けており、その功績は誠に顕著。

▽太田真義氏＝セイコービジネス㈱専務取締役、55歳。

2013年、東中国フォームと西中国フォームを統合し中国フォーム印刷工業会を発足。更に会長として、四国フォーム印刷工業会の活性化を図るために中四国フォーム印刷工業会を設立した。企業に於いては工場長として環境優良工場の受賞に貢献、第1回GP認定工場にも認定された。

▽鈴木茂樹氏＝トッパン・フォームズ㈱専務取締役、59歳。

個人情報保護法研究会契約書雛形改訂分科会の座長として、契約書雛型改訂版（第2版）を策定。更に第3版（改訂版）とともに契約条文解説書を発行する等、DPS業務に関する契約事項の基礎を構築した。また13年からは日印産連個人情報保護研究会及び同WG委員として活躍した。

ジャグラ

▽菅野潔氏＝㈱興栄社代表取締役、56歳。

平成10年から4年間はジャグラ事業の根幹を成す経営基盤確立委員として活躍した。平成20年からは環境のエキスパートとして、ジャグラばかりでなく、印刷業界全体においても活躍している。

▽大内靖氏＝㈱グラフィカ大内代表取締役、67歳。

カラー対応のエキスパートとして平成15年6月カラー印刷技術委員長に就任し、カラーチャートを平成18年、平成19年、平成23年、平成26年と開発し、業界のカラー印刷対応力の向上に尽力した。

全日本製本

▽中山正敏氏＝共同紙工㈱代表取締役、64歳。

長年に亘り、宮城工組の理事長を務める。東日本大震災に際しては、理事長として被災状況の把握や支援の前面に立ち、組合員企業の復旧・復興に尽力した。

▽松本峰包氏＝松本製本㈱代表取締役、64歳。

福岡工組の専務理事・理事長の要職を長年務める。この間、取引慣行に係る対外交渉の担当を務め、取引慣行の改善に尽力するなど、地域製本業の経営基盤の確立に貢献した。

GCJ

▽杉渕好美氏＝㈱プロセスレボ社長、67歳。

多年に亘り企業経営に携わる傍ら、業界組織の要職を歴任、現在GCJ副会長・GC北海道理事長として活躍。北海道地区の業界組織の事業全般の運営、振興に先導的に努めるとともに、組合事業の推進を通じて組織基盤づくりに尽力した。

全日本シール

▽田中幸晴氏＝㈱田中美術印刷代表取締役、59歳。

東京都正札シール印刷協同組合では6年4ヶ月にわたり副理事長を務められ、連合会でも常務理事として現在も組織の取りまとめ・活性化に尽力されている。特に連合会主催の行事には積極的に参加されており組合員からは信望が厚いリーダーである。

全国グラビア

▽弓矢泰氏＝富士機械工業㈱顧問委員、73歳。

1978年フィルム用グラビア輪転印刷機の初号機FDシリーズを完成させ、その後FM、FS、FX、各機の開発も主導。2000年にはセクショナルグラビアMDシリーズを完成させた。現在は次世代の育成に携わっている。

スクリーン・デジタル

▽内藤正和氏＝内藤プロセス㈱代表取締役、62歳。

従来からのスクリーン印刷での技法を原点にしながら高繊細なライン構成で独自の高機能印刷を確立している。団体理事として、組織の強化、財政基盤の健全化、若手理事の指導・育成に努めている。

全日本光沢

▽長谷川重則氏＝日本樹脂工業㈱相談役、69歳。

多年に亘り企業経営に携わり、独自のラミネート加工技術を研究、顧客に新技術の提案・新需要創出を図り、広く業界の振興発展に貢献。組合では東京組合監事・理事、全日本理事等を歴任、環境委員・税制対策等の事業推進に尽力した。

祝　2015年9月印刷の月　2015印刷文化典（日本印刷産業連合会設立30周年）
NIKKEI PRINTING INC.

彩友会や印刷成田講などの親睦会等にも旧来から積極的に参画し、現在も活躍中である。

印工組副理事長などの要職に就く。この間、全印工連教育・労務委員会委員長として、経営者研修会や人材育成セミナーの企画・開催支援、制度教育事業の実施、技能検定実施への協力、労働関係法令改正への対応など、様々な教育事業の推進に努め、現在の全印工連教育事業の礎を築いた。

▽日比野信也氏＝日生印刷㈱社長、57歳。

平成6年から8年まで全

日比野信也氏

工藤久志氏

服部克彦氏

永井直裕氏

有松敏樹氏

小林博美氏

大熊茂樹氏

安武史朗氏

小谷達雄氏

四橋英児氏

大島一夫氏

河合正氏

金谷益孝氏

三浦順治氏

盤強化策の構築、さらには、「全印工連2010計画—業態変革実践プラン」、「産業成長戦略提言—ソリューション・プロバイダーへの進化」の積極的な推進などを図っている。

フォーム工連

▽小谷達雄氏＝㈱イセトー会長、62歳。

平成8年にフォーム工連理事に就任し、常任理事及び副会長を経て、平成22年には会長として就任。常に

用できるコンテンツであるため、人気事業として成長し定着している。

全日本製本

▽大熊茂樹氏＝㈱大熊製本代表取締役、64歳。

東京工組副理事長、全製工連専務理事の要職を務める。この間、東京工組の広報委員長、広報担当副理事長として機関誌やホームページの内容の充実化を図ったほか、商業印刷製本部会長として部会運営の活性化に貢献した。全製工連では、製本業中期振興ビジョンの策定並びに普及推進に大きく寄与した。下請法の周知を図るなど、組合員の取引

組合理事長の2期4年をは

ンド㈱会長、91歳。

ている。

特別賞

▽全日本印刷工業組合連合会＝「CSR事業への取組み」

全日本印刷工業組合連合会は、平成22年度よりCSRの研究に取りかかり、平成25年度に業界団体として日本初のCSR認定制度を立ち上げ運用を開始した。現在ではワンスター企業75社、ツースター企業12社の計87社が認定され、今後の普及、影響について他の業界からも大きな注目を集めている。

全印工連 CSR 認定マーク
ワンスター認定マーク　ツースター認定マーク　スリースター認定マーク

▽広島県印刷工業組合（福山支部）＝「東日本大震災支援事業　笑顔のうちわ・カレンダーの寄贈」

東日本大震災を受け、福山市にある小学校の生徒にそれぞれの〝想い〟を描いてもらい、その中から選ばれた48作品から「〝笑顔〟のうちわ」と「笑顔のカレンダー」を作成して届け、今日まで4年間に亘り活動を続けている。この事業は一般各メディアで取り上げられ、印刷業界のPRならびに地位向上に貢献した。

広島県印刷工業組合

▽山口県印刷工業組合（青年部）＝「MUD点字カレンダーの寄贈」

社会貢献活動として、4年前の平成23年より県内外の印刷資材メーカー34社の協賛を得て、卓上型のMUD点字カレンダーを制作して寄贈している。カレンダーにはメディアユニバーサルデザイン（色覚障害者、色弱者にも優しいデザイン）を採用し、見やすさや、めくりやすさを実現している。この活動によって印刷業界としてのUDの普及啓発並びに対外PRに大きく貢献した。

2015年MUD点字カレンダー贈呈式
山口県印刷工業組合

▽堀洸太氏＝第43回技能五輪国際大会（サンパウロ大会）／印刷職種日本代表選手

2015年8月開催のブラジル・サンパウロ大会では、40職種45名の日本代表選手の一員として参加。オフセット印刷の他にデジタル印刷や印刷シミュレーター（SHOTS）のデジタル系課題を競うと共に、断裁・メンテナンス作業などの幅広い審査項目で技術・技能を発揮した。

堀洸太氏

祝　2015年9月印刷の月　2015印刷
TOPPAN